

# 新しい社会と学びと、学校再整備

議会等プレゼン資料

1. 子供たちが生きる社会
2. 学びはどう変わるのか
3. 学校再整備に向けて

# 1. 子どもたちが生きる社会

“縮小”

**Shrink**

(シュリンク)

直訳は「縮む」。ビジネスなどで、事業規模の縮小や、業績が下がったり消費が落ち込んだりすることなどを表現します。ここでは経済や社会の縮小を表現します。

“変化”

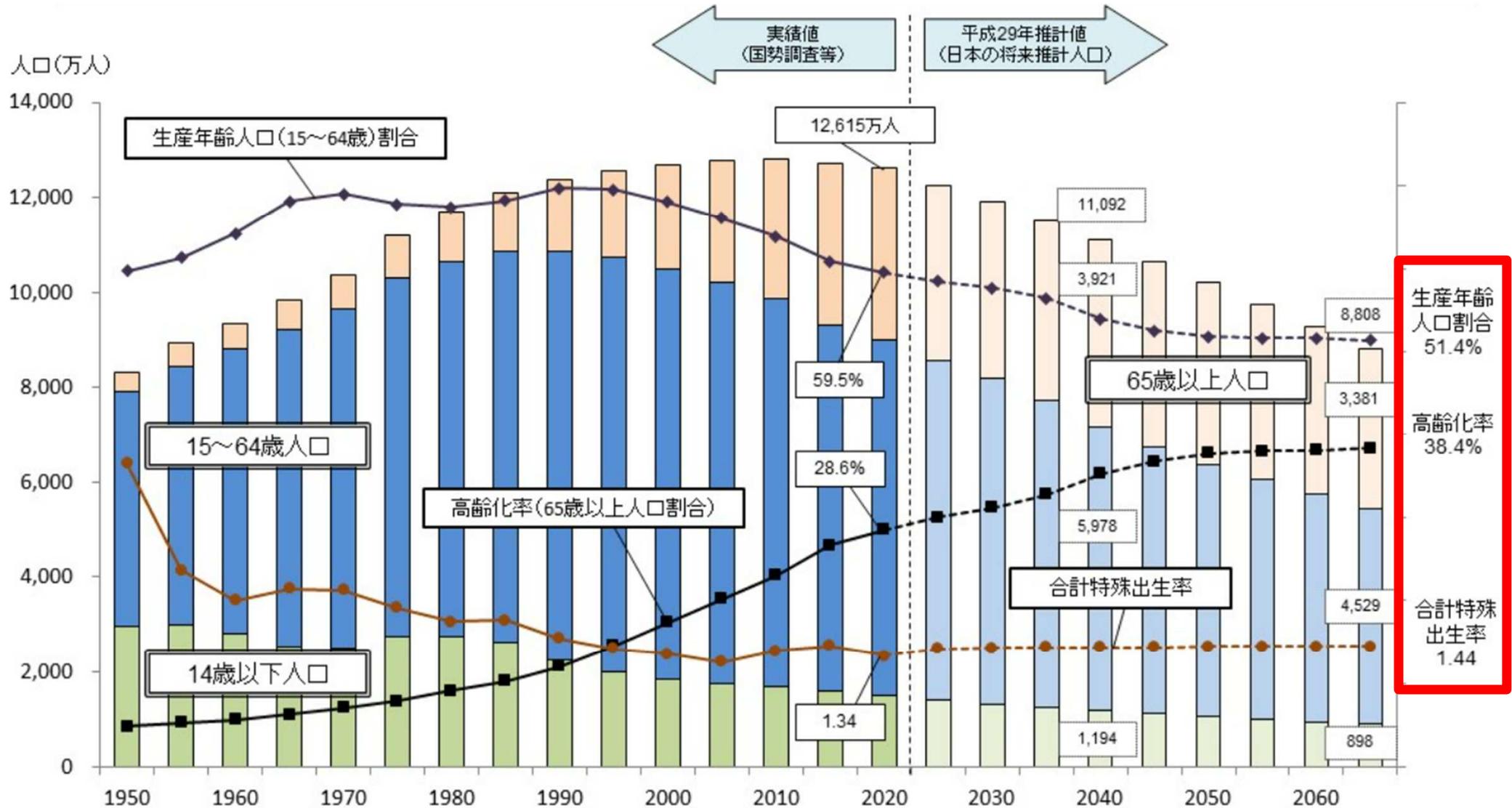
**VUCA**

(ヴーカ)

不確実な時代を指す略語  
Volatility (変動性・不安定さ)  
Uncertainty (不確実性・不確定さ)  
Complexity (複雑性)  
Ambiguity (曖昧性・不明確さ)

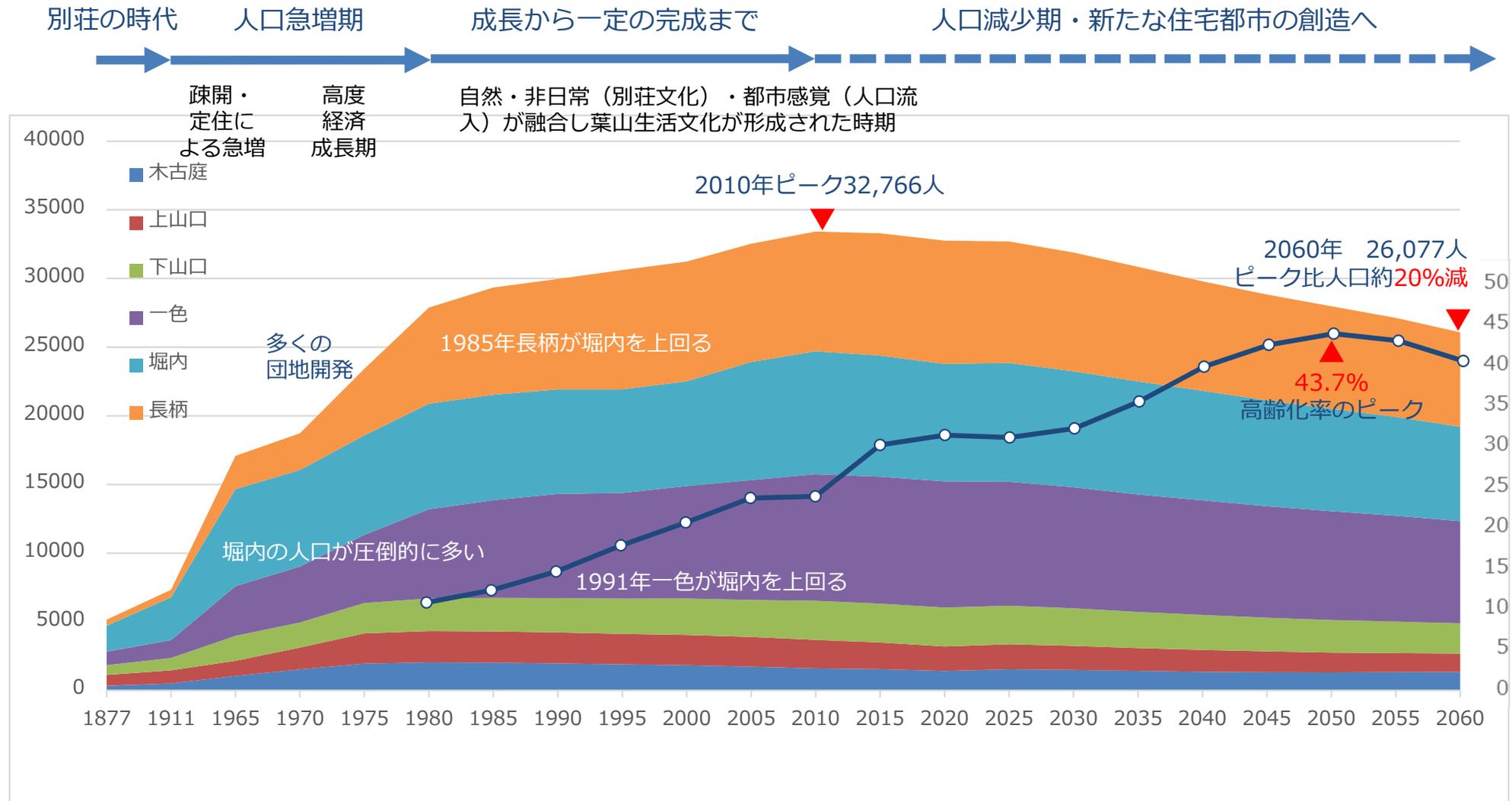
**AI**

# 超少子高齢化時代（日本）



(出所) 2020年までの人口は総務省「人口推計」(各年10月1日現在)等、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

# 葉山町のこれまでと将来



# 世界の時価総額の変化

## 世界時価総額ランキングTop50 (1989年)

順位	企業名	時価総額 (億ドル)	業種	国名
1	日本電信電話	1638.6	IT・通信	🇯🇵
2	日本興業銀行	715.9	金融	🇯🇵
3	住友銀行	695.9	金融	🇯🇵
4	富士銀行	670.8	金融	🇯🇵
5	第一勧業銀行	660.9	金融	🇯🇵
6	IBM	646.5	IT・通信	🇺🇸
7	三菱銀行	592.7	金融	🇯🇵
8	Exxon	549.2	エネルギー	🇺🇸
9	東京電力	544.6	エネルギー	🇯🇵
10	Royal Dutch Shell	543.6	エネルギー	🇬🇧
11	トヨタ自動車	541.7	一般消費財	🇯🇵
12	General Electric	493.6	工業	🇺🇸
13	三和銀行	492.9	金融	🇯🇵
14	野村証券	444.4	金融	🇯🇵
15	新日本製鉄	414.8	工業	🇯🇵
16	AT&T	381.2	IT・通信	🇺🇸
17	日立製作所	358.2	IT・通信	🇯🇵
18	松下電器	357.0	一般消費財	🇯🇵
19	Philip Morris	321.4	一般消費財	🇺🇸
20	東芝	309.1	IT・通信	🇯🇵

## 世界時価総額ランキングTop50 (2022年)

順位	企業名	時価総額 (億ドル)	業種	国名
1	Apple	28,281.9	IT・通信	🇺🇸
2	Microsoft	23,584.4	IT・通信	🇺🇸
3	Saudi Aramco	18,868.9	エネルギー	🇸🇦
4	Alphabet	18,214.5	IT・通信	🇺🇸
5	Amazon.com	16,352.9	サービス	🇺🇸
6	Tesla	10,310.6	一般消費財	🇺🇸
7	Meta Platforms	9,266.8	IT・通信	🇺🇸
8	Berkshire Hathaway	7,146.8	金融	🇺🇸
9	NVIDIA	6,817.1	IT・通信	🇺🇸
10	Taiwan Semiconductor Manufacturing	5,945.8	IT・通信	🇹🇼
11	Tencent Holdings	5,465.0	IT・通信	🇨🇳
12	JPMorgan Chase	4,940.0	金融	🇺🇸
13	Visa	4,587.8	金融	🇺🇸
14	Johnson & Johnson	4,579.2	一般消費財	🇺🇸
15	Samsung Electronics	4,472.9	IT・通信	🇰🇷
16	UnitedHealth Group	4,320.0	金融	🇺🇸
17	LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton	4,134.3	一般消費財	🇫🇷
18	Home Depot	4,117.1	サービス	🇺🇸
19	Bank of America	4,053.0	金融	🇺🇸
20	Walmart	4,025.0	サービス	🇺🇸

上位20位以内

14社



0社

日本のトップはトヨタ自動車で31位

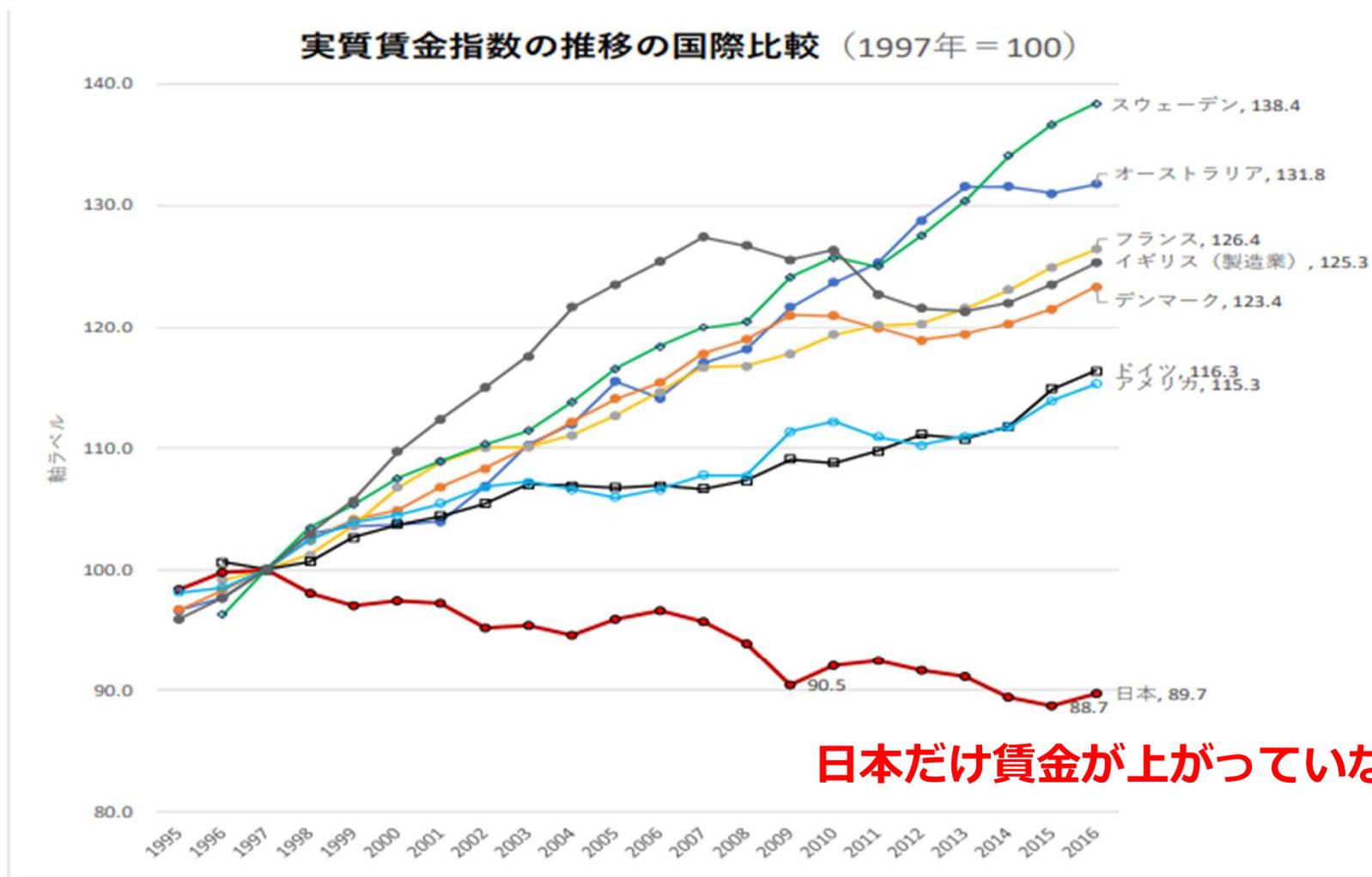
注1：1989年のデータはダイヤモンド社のデータ (<https://diamond.jp/articles/-/177641?page=2>) を参照

注2：2022年のデータはWright Investors' Service, Inc.のデータ (<https://www.corporateinformation.com/Top-100.aspx?topcase=b#/tophundred>) を参照 (2022年1月14日時点)

注3：業種は経済産業省の「業種分類表」を元にSTARTUP DB独自の定義により決定 ([https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kaigaizi/result/pdf/bunrui\\_48.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kaigaizi/result/pdf/bunrui_48.pdf))

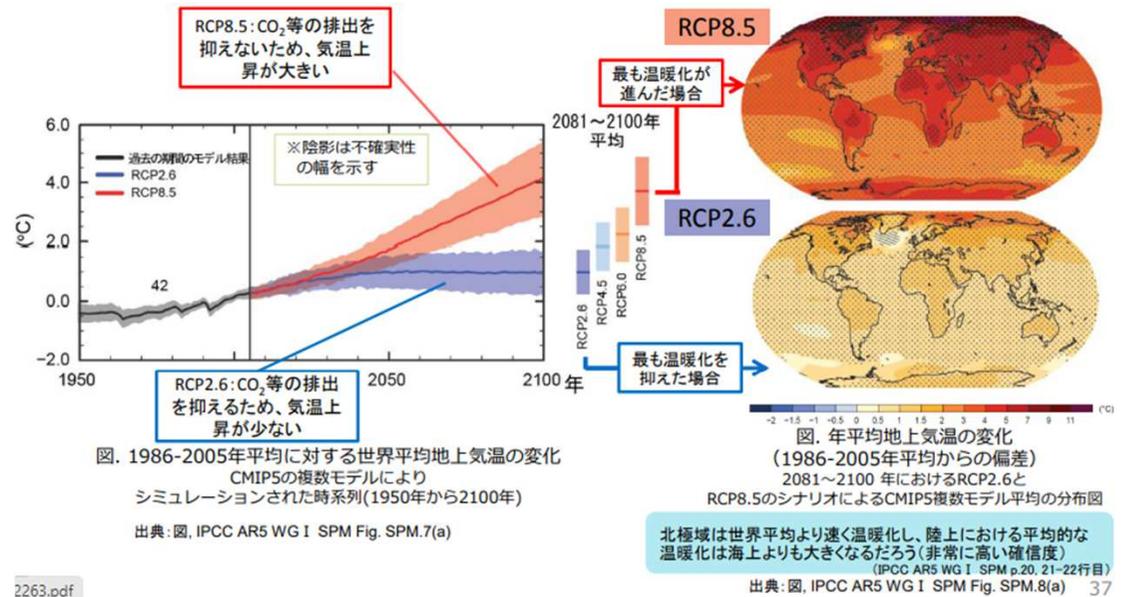
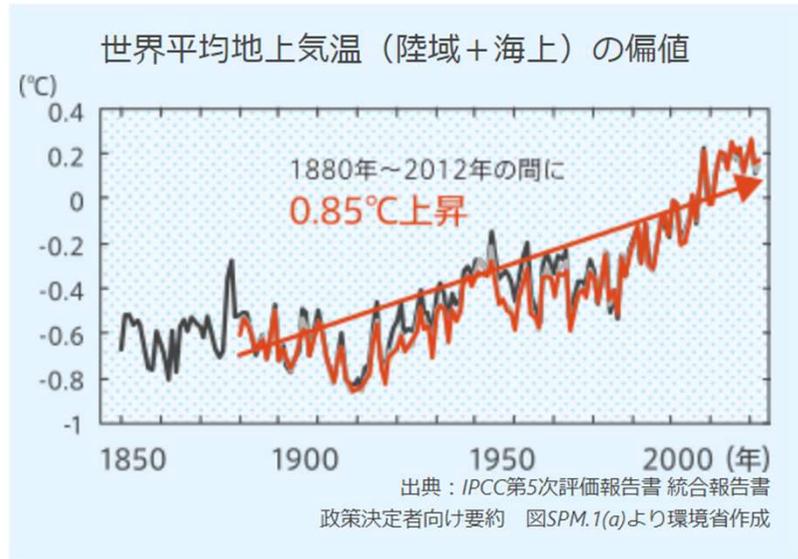
注4：国名は登記上の所在国を記載

# 実質賃金指数の推移の国際比較



日本だけ賃金が上がっていない

出典: oecd.statより全労連が作成(日本のデータは毎月勤労統計調査によるもの)。  
 注: 民間産業の時間当たり賃金(一時金・時間外手当含む)を消費者物価指数でデフレートした。オーストラリアは2013年以降、第2・四半期と第4・四半期のデータの単純平均値。仏と独の2016年データは第1~第3・四半期の単純平均値。英は製造業のデータのみ。



2263.pdf

シナリオ名称	温暖化対策	平均(°C)	「可能性が高い」予測幅 (°C)
RCP8.5	対策なし	+3.7	+2.6～+4.8
RCP6.0	少	+2.2	+1.4～+3.1
RCP4.5	中	+1.8	+1.1～+2.6
RCP2.6	最大	+1.0	+0.3～+1.7



図. 地域別の短時間強雨の発生頻度の変化

- Iotによる知識・情報の共有、新たな価値の創造による課題解決
- AIによる情報の最適処理による課題解決
- イノベーションを通じた閉塞感の打破、一人一人が活躍できる社会



## 56の能力等に対する需要

2015年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14
責任感・まじめさ	1.13
信頼感・誠実さ	1.12
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11
スピード	1.10
柔軟性	1.10
社会常識・マナー	1.10
粘り強さ	1.09
基盤スキル※	1.09
意欲積極性	1.09
⋮	⋮

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル



2050年	
問題発見力	1.52
的確な予測	1.25
革新性※	1.19
的確な決定	1.12
情報収集	1.11
客観視	1.11
コンピュータスキル	1.09
言語スキル：口頭	1.08
科学・技術	1.07
柔軟性	1.07
⋮	⋮

※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

## 2. 学びはどう変わるのか

# これまでの学び、これからの学び



これまで

知識を詰め込む学習

学歴重視・同調圧力

一斉指導・受動的



これから

知識の習得  
+

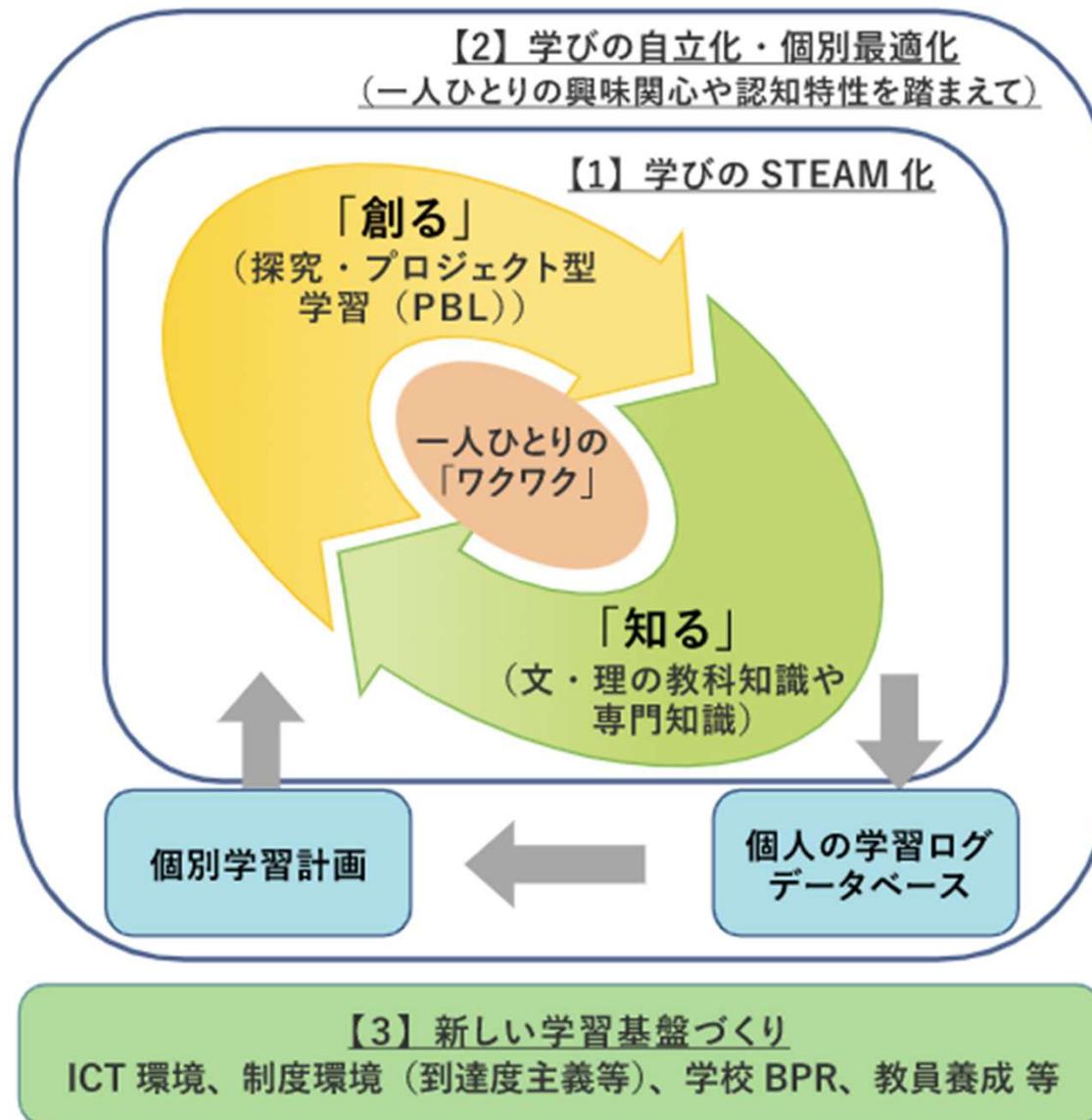
自分で考え行動できる力の獲得

ウェルビーイング  
多様性・インクルージョン

学びの支援・課題解決学習

転換点  
社会の変化

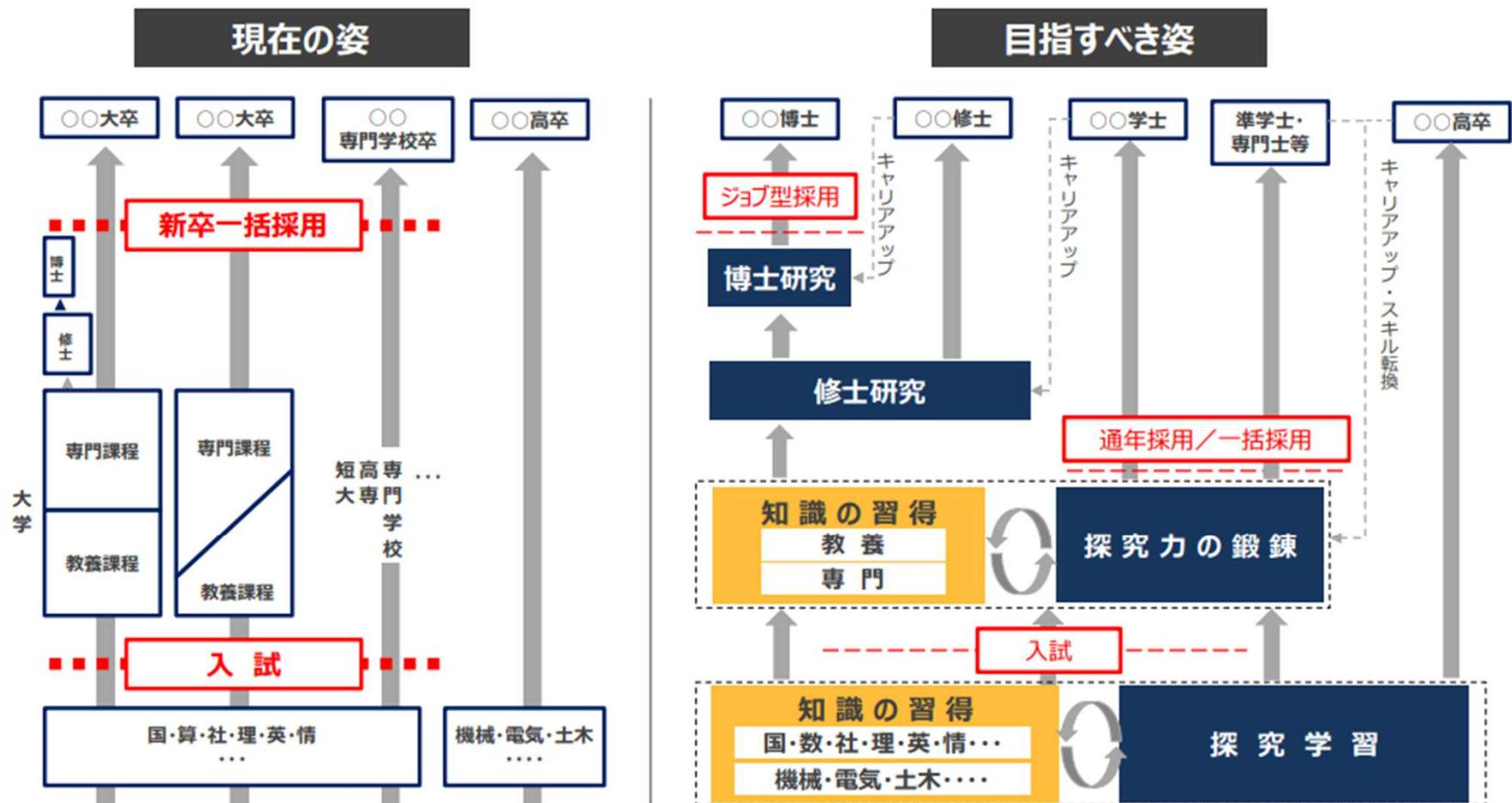
# 好きなことに夢中になれる教育への転換



# 探究的な学びの重要性

教育を2つの機能に分け、レイヤー構造として捉え直すべきではないか。

## ① 「知識」の習得 × ② 「探究（“知恵”）力」の鍛錬



# 自律等に関する意識調査結果からの課題

## 自身と社会の関わりについて 1/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。特に「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他の国に差をつけて低い。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位: %)	自分は大人だと思 思う	自分は責任があ る社会の一員だと思 思う	自分の行動で、 国や社会を 変えられると思 思う	国や社会に役立 つことをしたいと思 思う	慈善活動のため に寄付をしたい	ボランティア活動 に参加したい
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 1位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 1位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 1位	78.9 1位	92.6 1位	83.7 1位	78.1

# 3. 学校再整備に向けて

# スクールミッション・ポリシー

- 各校の在り方を検討する上で、各校が育成を目指す資質・能力を明確化することが重要
- 学校教育目標等が抽象的でわかりにくい、校内外への共有・浸透が不十分といった指摘

町が定める

## スクールミッション

- ✓ 学校教育における最上位の理念
- ✓ 各校の存在意義
- ✓ 期待される社会的役割
- ✓ 目指すべき学校像

学校が定める

## スクールポリシー

- ✓ 教育活動を一貫した体系的なものへ再編成
- ✓ 教育の継続性を担保

育成を目指す資質・能力に関する方針  
(グラデュエーション・ポリシー)

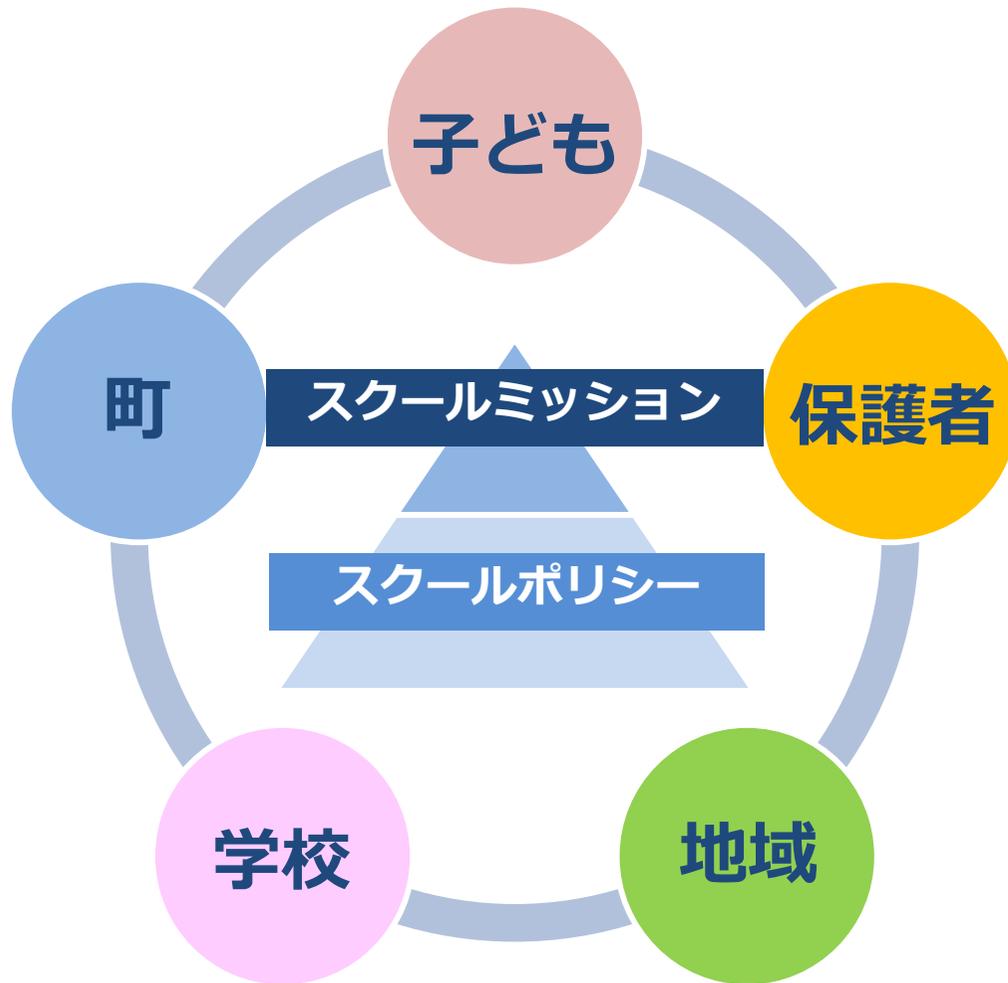
教育課程の編成及び実施に関する方針  
(カリキュラム・ポリシー)

入学者の受入れに関する方針  
(アドミッション・ポリシー)

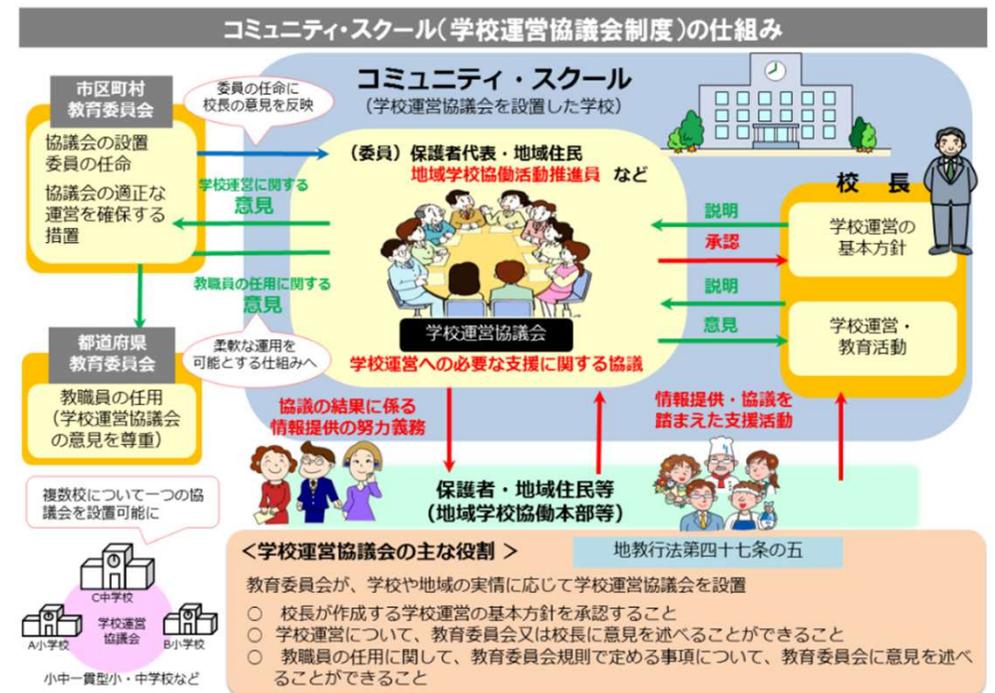
- ✓ 学習意欲を喚起し、学校生活や将来に対する展望を持ちやすい表現・内容
- ✓ 総花的なものせず真に重点的に取り組む内容を示す
- ✓ 日々の教育活動の検証等を通じて見直す

児童生徒の状況・意向・期待、学校の歴史・伝統、現在の社会・地域の実情、将来の社会像・地域像などを踏まえて決定する。

# 目的を共有した教育の展開



## コミュニティスクール × 地域学校協働本部



# 新しい学び舎の方向性

シュリンク

ヴーカ

**S**hrink

と

**VUCA**

+ **AI**

の時代を生きる児童生徒に対し

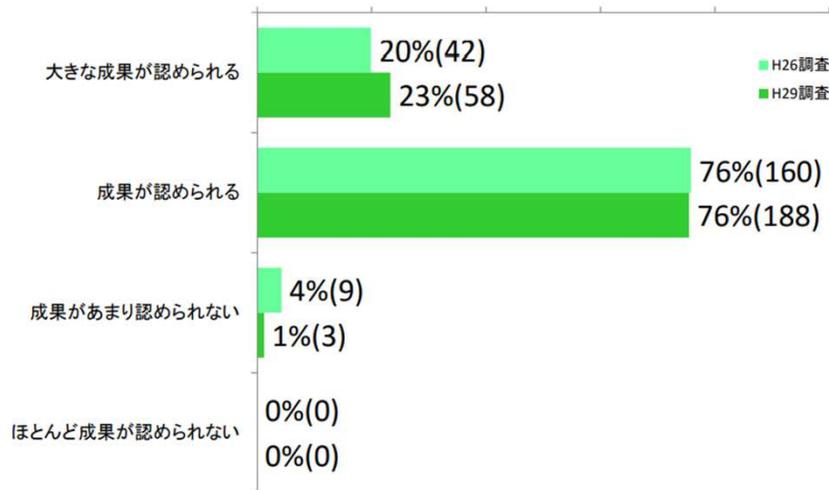
自分で深く考え スキルを活かして 行動できる 力を獲得する鍛錬を

9年間の系統性が最大限に生かせるカリキュラム・環境で

学ぶため **小中一貫教育に最適な学校** の整備を目指す

# 小中一貫教育の成果

## 【公立】



## 【公立】

### 生徒指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



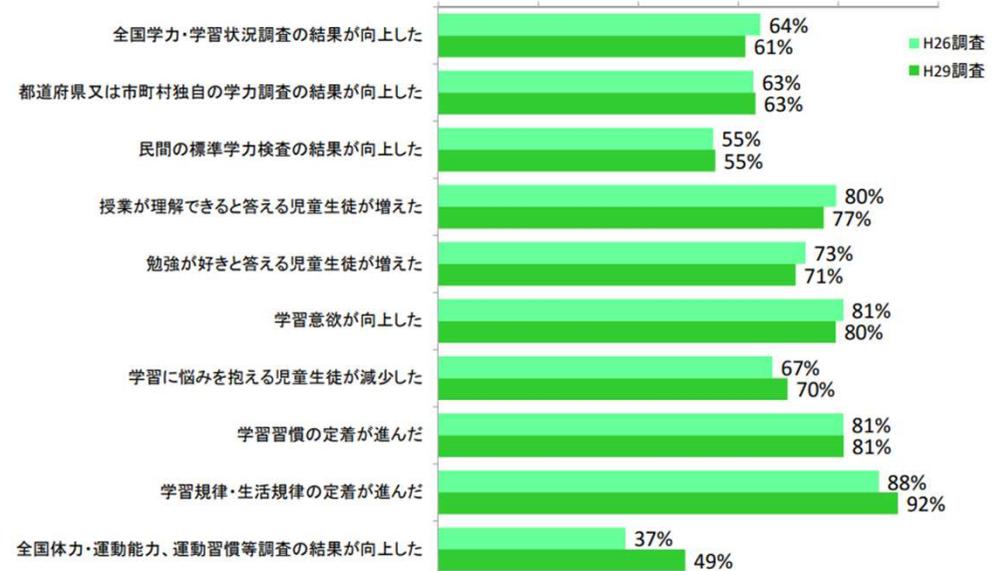
回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)  
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

33

## 【公立】

### 学習指導等

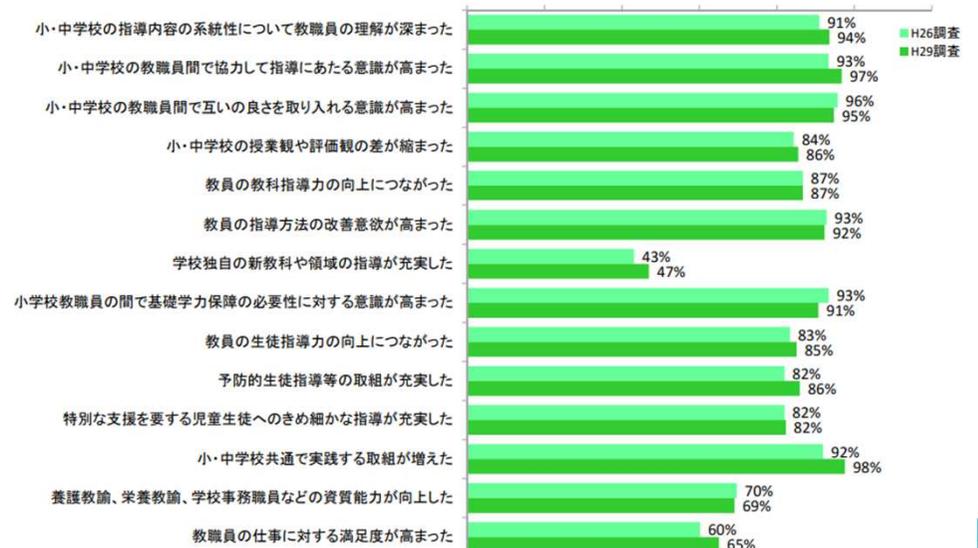
※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



## 【公立】

### 教職員の協働等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)  
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

34

# 小中一貫校施設形態別の満足度

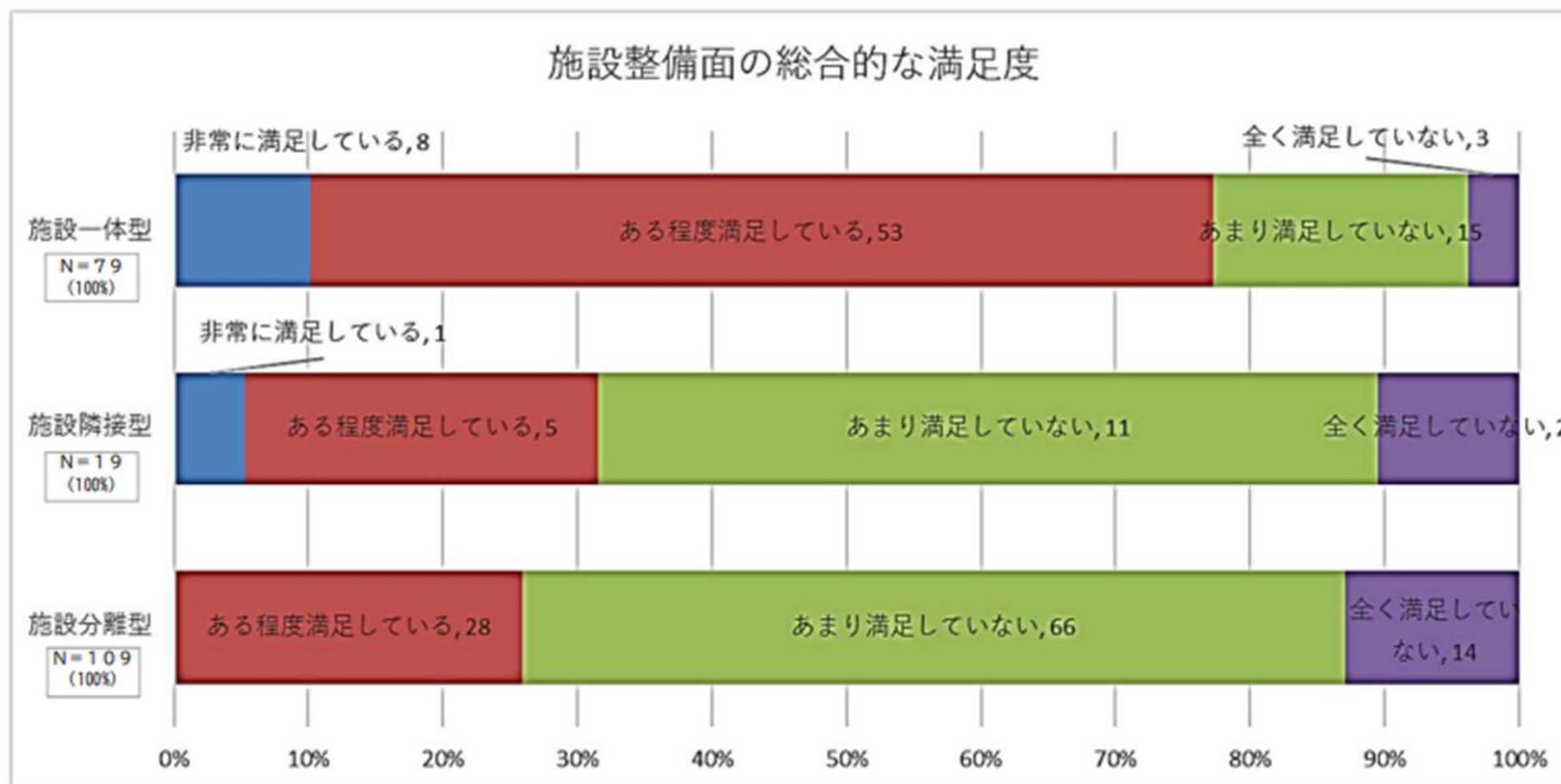
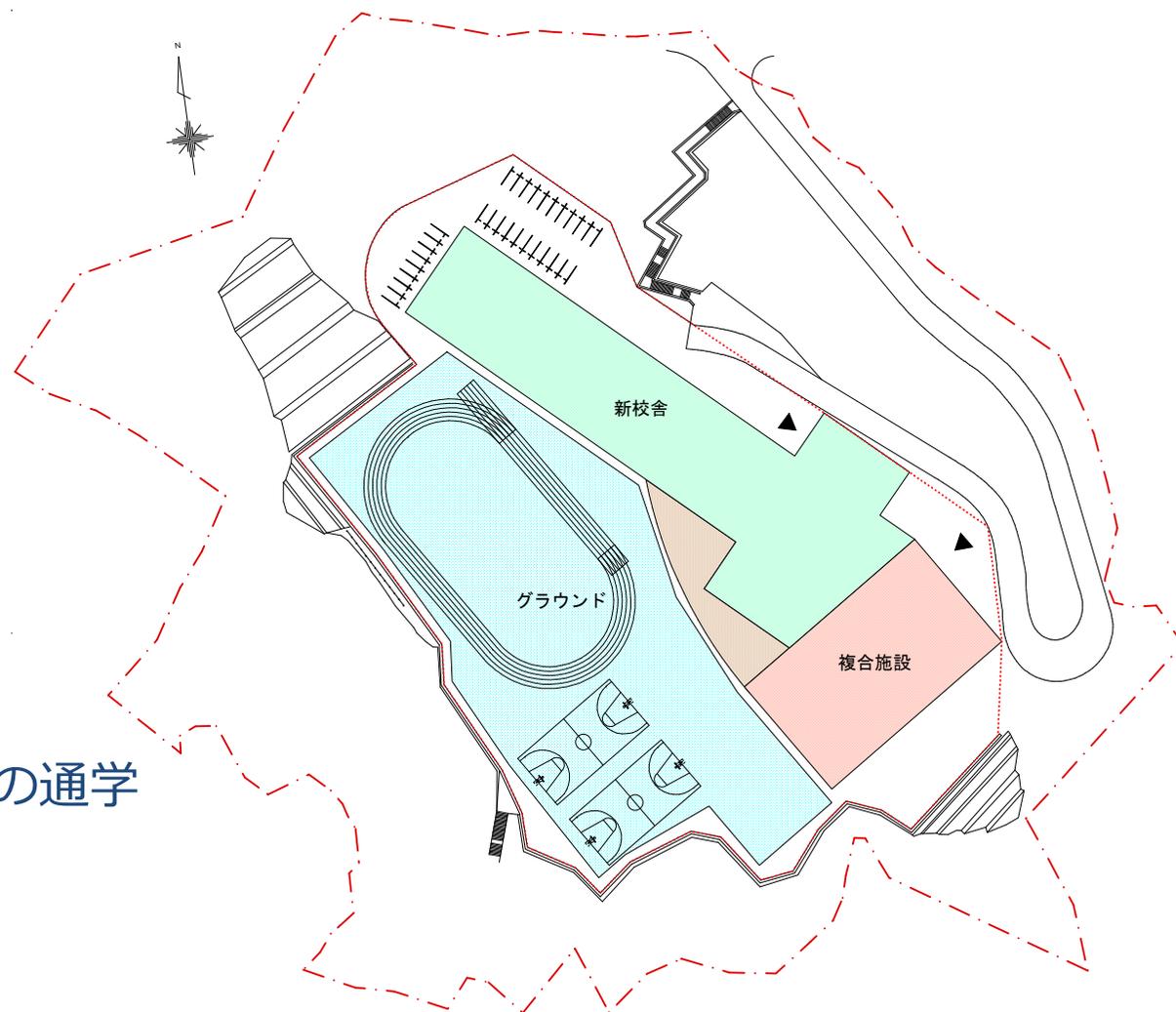


図3-1 施設形態別 施設面の総合的な満足度

(抜粋) 一体型は小学校段階と中学校段階の物理的な距離が近いため、小中一貫教育を運営しやすく、施設的な効果も感じやすいという一般的な想定が裏付けられる形となった。また、一体型は新改築により整備されている割合が高いため築年数が比較的浅く、児童生徒数あたりの保有面積にも比較的余裕があるため、これらも要因となっていることが考えられる。

# 学校再整備に向けて想定される課題



- 平地面積の確保
- 再整備の期間中の仮設校舎への通学
- 1校約50億円の整備費
- グラウンド面積
- プール
- その他

長柄・堀内地区の小中一貫校イメージ

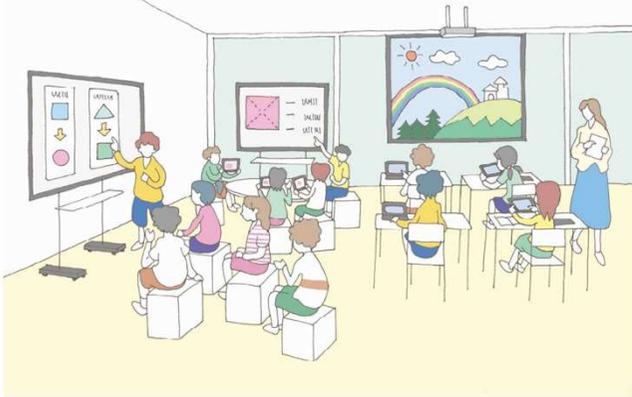
# 学校再整備に係る期間の想定

	R7	—	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
小中一貫校 建設敷地	基本方針公表	周知・調整機関			解体					
						敷地造成・新校舎建設等				
基本計画・ 支援業務			プロポーザル・設計 施工一括	工事監理業務						
仮設校舎 建設敷地				建設	仮設校舎借り上げ					解体
	設計	工事監理 業務								

# 新しい時代の学びを実現する学校施設

## 01 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間において、紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていく姿

## 07 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備



学校図書館とコンピュータ教室を組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・commons」としていく姿

## 10 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための勤務空間



常時ICTが活用できる環境を整備し、教職員が円滑に執務、打合せ、協働作業等を行うことができる勤務空間としていく姿

## 16 【共創】ともに創造する共創空間を実現する

多様な「知」を集積するための複合化・共用化等



他の公共施設（図書館等）との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間としていく姿

## 18 【安全】安全・安心な教育環境を実現する

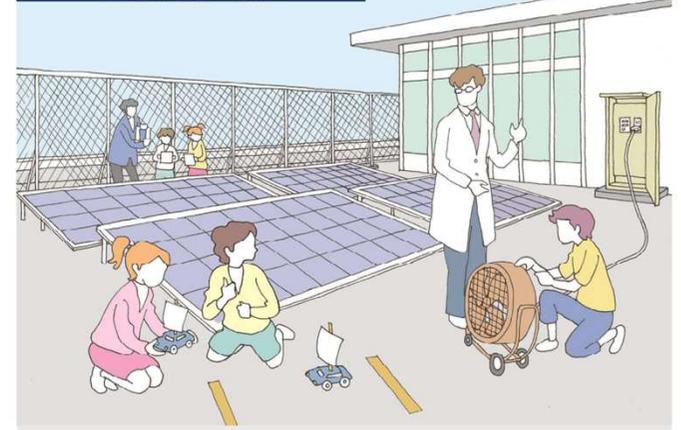
避難所としての防災機能の強化



地域の避難所として、バリアフリー化、水害対策など防災機能を一層強化するとともに、居住性等を確保していく姿

## 19 【環境】持続可能な教育環境を実現する

脱炭素社会の実現を目指した学校施設整備



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について  
 （令和4年3月学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）

# 学校施設の再整備に向けた取組の流れ

## R7 夢をかたちにしていく

- ▶ 学校の再整備に向けた具体的な取り組み (中長期)

## R6 町制100周年 夢を方針に変換する

- ▶ 第四次教育総合プラン
- ▶ 学校施設の再整備に関する方針の公表 など

## R5 夢を語る

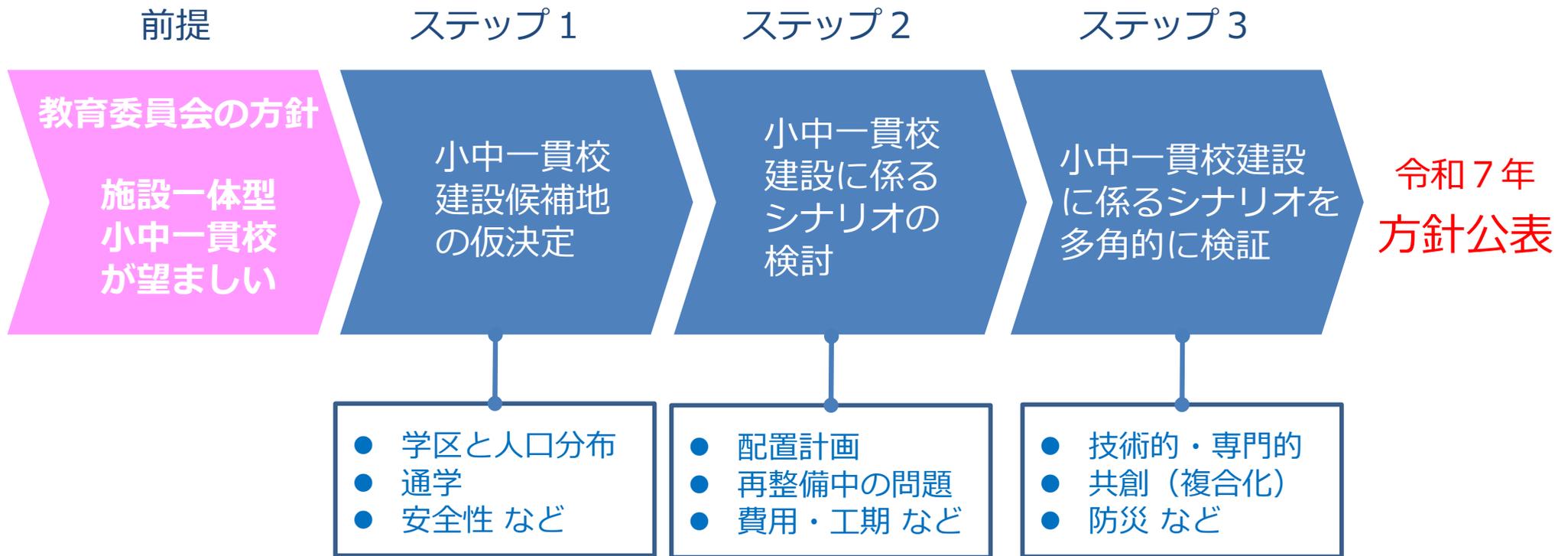
- ▶ スクールミーティング (学校運営協議会)
- ▶ 学校施設あり方検討委員会の設置 など

## R4 ヒントを集める・準備する

- ▶ スクールミーティング (PTA)
- ▶ リノベーション可能性調査 など



# 検討の大まかな流れと体制



- ① 町議会への説明
- ② 将来の公共施設・学校・公園を考える意見交換会（町内会役員を対象）
- ③ 学校運営協議会（長柄小・南郷中の合同協議会、葉小・上小・一色小・葉中の合同協議会ほか）
- ④ 学校施設あり方検討委員会（年度末から検討をスタートする予定）